

## 親愛なるお客様へ

暖かな日差しに春の訪れを感じるこの頃、いかがお過ごしでしょうか。2023年が皆様にとって健やかで実り多き年でありますよう心からお祈り申し上げます。

エアバスはグループ全体で国連が掲げる持続可能な開発目標(SGDs)に取り組んでいます。日本においても昨年CSR(企業の社会的責任)委員会を発足し、これまでにビーチクリーニング、道路清掃や小学校でのワークショップ開催等の活動を行いました。世界や地域社会の一員としてSGDsが掲げる様々な課題解決に少しでも貢献できるよう活動を続けてまいります。

私どもにとってお客様の安全が第一優先であることから、今号ではH225のダイナミックコンポーネントの振動モニタリングの拡張を行う改修、H125/H130耐破壊性燃料システム(CRFS)のレトロフィットのキャンペーン継続に加え、安全推進活動およびヘリコプターの安全情報など、お客様の機体の安全性をさらに向上する改修、レトロフィットやお客様の安全運航に寄与する情報を紹介いたします。

また、今年は隔年の顧客満足度を実施させていただきます。

是非ともお時間をいただき、私どもが実施しております取り組み、製品・サービスへのご意見をお聞かせいただければと存じます。戴きましたお声は弊社の製品・サービスに反映し、さらに改善を続けてまいります。

最後に、カスタマーシンポジウムを5月23日、24日に東京で開催いたします。皆様と直接お目にかかれたいことを楽しみにしております。

春の訪れとともに、皆様の益々のご健勝を心よりお祈りいたします。本年も変わらぬお引き立てのほど何卒よろしくお祈り申し上げます。

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン株式会社  
最高執行責任者・社長 **ギヨム・ルプラン**



H130ファルコン・アビエーション・サービス  
(アラブ首長国連邦)

## CONTENTS

### 飛行の未来 / PIONEERING

エアバスグループ、日本においてCSR活動開始

### サービス / SERVICE

SB Insight使用方法のチュートリアル

邦文飛行規程改訂状況について

H225振動モニタリングの拡張について

テクニカル・リクエスト・アプリケーションの新機能

### 製品 / PRODUCT

ザ・ヘリコプター・カンパニー、ACH160

6機のHCare In-Service契約を締結

スイスRega 5枚翼のH145を12機追加発注

欧州の洋上風力発電所の稼働を維持

H125/H130耐破壊性燃料システム(CRFS)

レトロフィットに関するキャンペーン継続のご案内

### 訓練 / TRAINING

2023年度設定訓練コース

春のシミュレーター訓練キャンペーン 2023

### 航空安全 / AVIATION SAFETY

1. 安全推進活動

2. ヘリコプターの安全情報

### インフォメーション / INFORMATION

2023年顧客満足度アンケートのお願い

統合基幹業務システム(SAP)移行

クリストフ・ザマー

カスタマーサポート&サービス部門

エグゼクティブ・バイス・プレジデントよりお客様へ

お取引に伴う輸出管理規制への対応について

開催予定イベント

ご意見募集

## エアバスグループ、日本においてCSR活動開始

エアバスグループは、世界、そして地域社会の一員としての責任を認識し、国連が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)にコミットしております。日本においては、昨年CSR(企業の社会的責任)委員会を発足しSDGsに向けた取り組みを開始いたしました。これまでに、神奈川県由比ヶ浜でのビーチクリーニング、神戸空港から弊社神戸事業所までの道路清掃、六本木地区の清掃等の活動を行いました。また、2月8日には、岩手県一関市の小学校を訪問し、次世代育成のための航空産業ワークショップを実施いたしました。今後も取り組みを継続してまいります。



2022年12月 神奈川県由比ヶ浜ビーチクリーニング




2023年2月8日 岩手県一関市立山目小学校ワークショップ

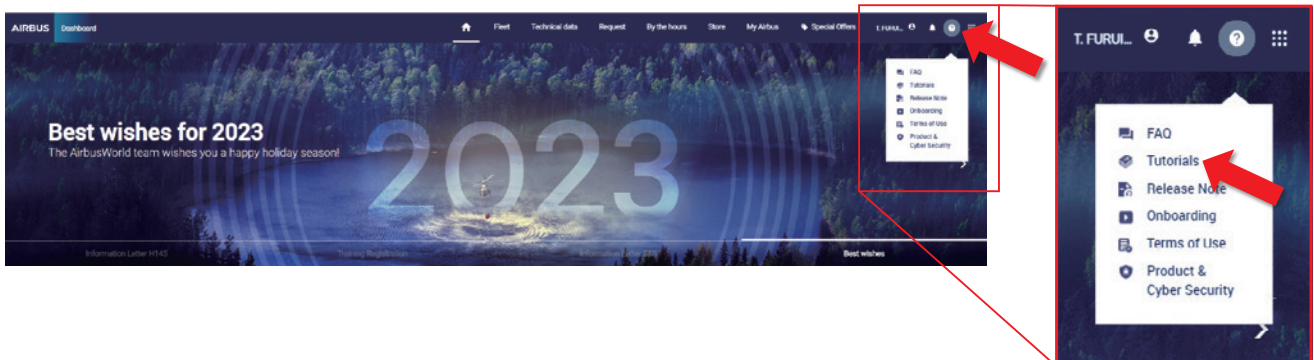
本件に関するお問い合わせ：CSR委員長 小野寺(03-6871-8218)

## SB Insight 使用方法のチュートリアル

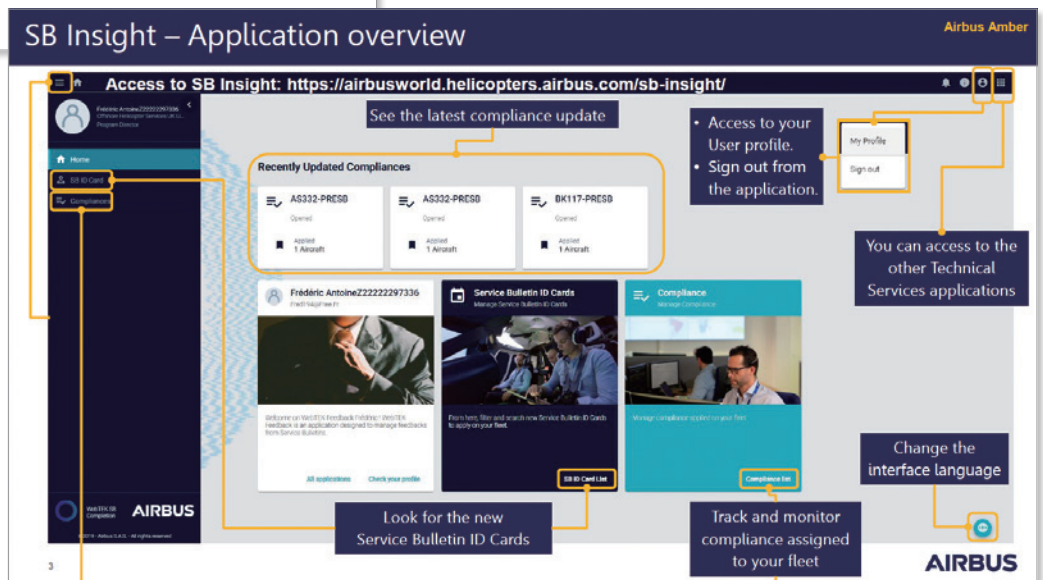
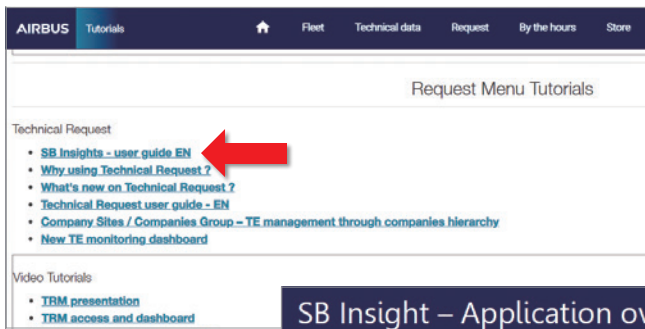
IN 3785-I-00にてAirbusWorldのSB Insightを使用してSB実施後のレポートをお願いしておりますが、使用方法に関するチュートリアルがAirbusWorldで閲覧できます。

### ■チュートリアル閲覧方法

AirbusWorldにログインし、右上の  (Help) アイコンをクリックし、表示される一覧から“Tutorials”をクリックする。



少し下にスクロールし、“Request Menu Tutorials”にある“SB Insights-user guide EN”をクリックし、チュートリアルを開く。



## 邦文飛行規程改訂状況について

従来お客様サイトに掲載していました邦文飛行規程の改訂状況について、お客様サイトの廃止に伴い、エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンのホームページ (<http://www.airbushelicopters.co.jp>) 内最新情報欄に掲載場所が変更となりましたのでお知らせいたします。

### ■ 邦文飛行規程改訂状況の閲覧方法



「最新情報」内の「飛行規程改訂状況表」をクリック

「飛行規程改訂状況表」をクリック



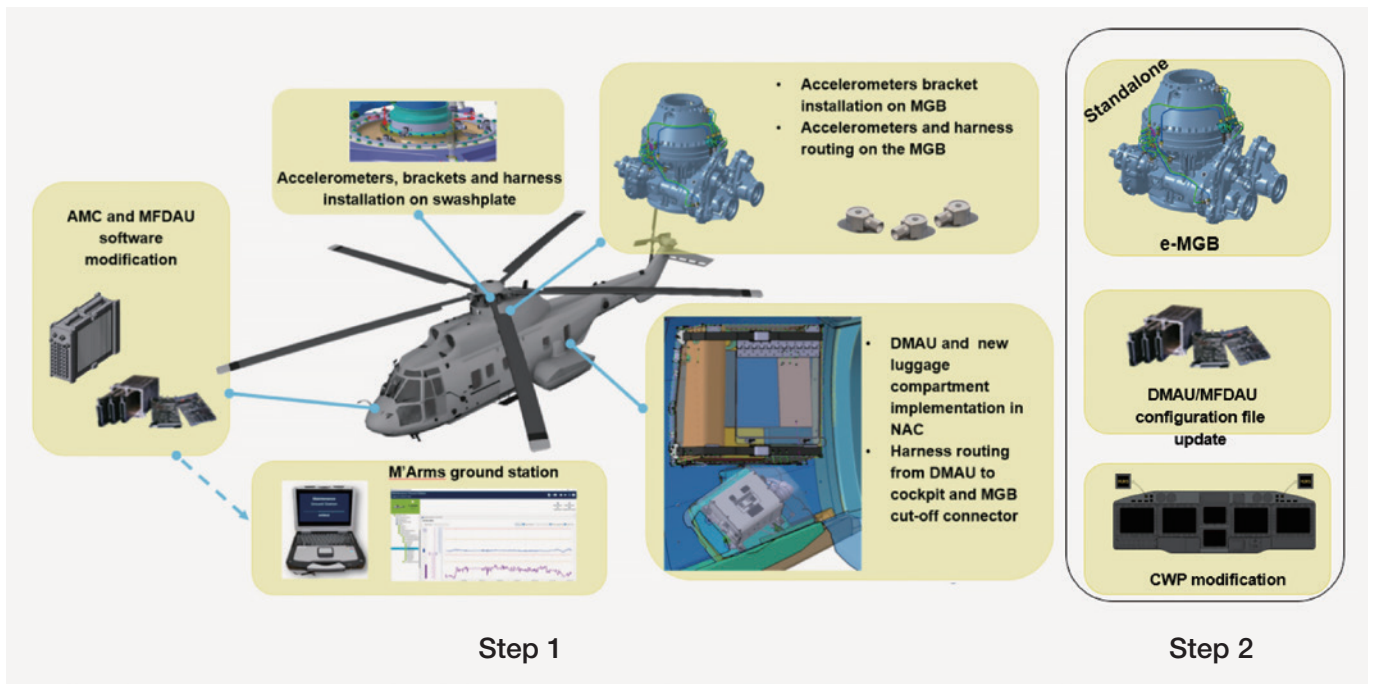
# H225振動モニタリングの拡張について

機体の安全性をさらに向上させるため、H225のダイナミックコンポーネント振動モニタリングの拡張を行う改修の実施を推進しています。M'ARMSの機能を拡張し、新たにe-MGB(enhanced MGB)を搭載することによって、以下の利点が得られます。

- 現在1000FHで要求されるplanet gear交換のためのD-levelセンターへのMGBの返送が不要となり、e-MGBは2000FHのTBOまで使用できる\*。
- FFMPの点検間隔が、現在の飛行後点検から、Flight-related check(VLV: 15FH or 7 days)に延長される。

現在H225を運航中のお客様には、弊社担当者より別途ご連絡差し上げます。改修内容の詳細は、SIN 3800-S-63及び SIN 3850-S-63をご確認ください。

\* 別途Free wheel等の要求がある場合を除く。



## テクニカル・リクエスト・アプリケーションの新機能

AirbusWorldのテクニカル・リクエスト(TE)アプリケーション(WebTEK)がアップデートされ、新しい機能が追加されましたのでお知らせいたします。

### 1. フォローアップ機能

お客様が中、長期のアクションをご要望された(例えば、Tech Data、Service Bulletinの改訂等)場合、より確実にフォローできるようにするため、弊社から回答送信後もTEを「フォローアップ」ステータスとして維持することが可能になりました。

### 2. 輸出管理規制への対応

輸出管理規制に基づき、TEで扱うお問い合わせと弊社からの回答が輸出管理規制の対象となる場合があります。この場合、お客様へ送信される回答には本文が記載されないため、お客様から「テクニカル リクエスト」アプリケーションにアクセスし内容をご確認頂く必要があります。

「テクニカル リクエスト」アプリケーションにアクセスできないお客様については別途FAX等でご回答いたします。

詳細については2023年2月9発行のIN 3875-I-00をご参照ください。

使用方法等のご不明点ございましたら、弊社テクニカルサポート部担当者までご連絡ください。

## ザ・ヘリコプター・カンパニー、ACH160 6機のHCare In-Service 契約を締結

サウジアラビア王国内で公共投資基金 (PIF) によって設立され、はじめて商業運航を許可されたヘリコプターサービス会社、ザ・ヘリコプターカンパニー (THC ドバイ) は、ACH160ヘリコプター6機を対象としたHCare In-Service 契約を締結しました。

ACH160は納品後、サウジアラビア王国内の企業輸送に使用される予定です。HCare In-Service パッケージは、THC の計画的な運用ニーズに合わせ、メンテナンス計画とサービス提供を最適化するための部品供給サービスを提供します。

THCのCEOであるArnaud Martinez 大佐は、「ヘリコプター産業が拡大する昨今、THCはより高品質で安全かつ信頼性の高いサービスをお客様から求められています。エアバス社との契約により、お客様のニーズを確実に満たすことができるようになるでしょう」と述べました。

「HCareのサポートとサービスのパッケージは、お客様一人ひとりのパフォーマンスと安全性を高め、コストを最適化し、資産価値を保護することを目的としています。このPBH (Part-By-the-Hour) ソリューションは、THCが保有するACH160の定期・不定期メンテナンスのすべてを1つの契約でカバーし、日々のミッションを安全かつ効率的に遂行するために役立ちます。」とエアバス・ヘリコプターズのカスタマーサポート&サービス部門エグゼクティブ・バイス・プレジデント、Christoph Zammertは述べています。

2019年にサービスを開始したTHCは、「ビジョン2030」の実現を支えるサウジアラビアの新分野を活性化し、長期的な商業収益を上げるというPIFの戦略の一環として、高級観光や航空旅行サービスに対する需要の高まりに応えるために設立されました。THCはサウジアラビア王国全域で航空業務やHEMS (ヘリコプター救急医療サービス) に従事するため、これまでにH125を10機、H145を20機購入する契約を締結しています。

HCare In-Serviceは、HCare InitialとHCare Lifetimeと同様、新しいHCareに含まれる3つの柔軟なソリューションの1つです。特定の航空機、例えばエアバス・コーポレート・ヘリコプター (ACH) 航空機はHCare Firstが、生産終了したレガシーフリート (H120、ドーフン、プーマ、ガゼル) はHCare Classicsが利用可能です。

## スイス Rega 5枚翼の H145 を 12機追加発注

スイス航空救助サービス (Rega) は、山岳地帯の基地で運用するため、5枚翼のH145ヘリコプター12機の追加発注を決定しました。このヘリコプターは、現在使用しているAW109SPヘリコプターの後継機となります。今回の発注は、2022年3月に発表された9機のH145の初回契約に続くものです。2026年までにRegaのフリートはすべてエアバス機、21機の5枚翼のH145で構成される予定です。

「スイスの救命航空サービスを効果的に運用するためには、高高度で最適な性能を発揮できることが最も重要であると理解しています。5枚翼のH145は、アルゼンチンのアコンカグアという7,000メートル近い高地に着陸しましたが、他のどの双発ヘリコプターもこの偉業を達成したことがありません。そのため、Regaが5枚翼のH145に信頼を寄せ、このような重要な任務を遂行する唯一のヘリコプターにする決定をしたことを特に誇りに思っています」と、エアバス・ヘリコプターズのCEOであるBruno Evenは述べています。



「5枚翼のH145を選択することで、Regaが今後15年間は、患者に信頼できる専門的な航空医療支援を提供し続けられることを保証します」とRegaのCEO、Ernst Kohlerは述べています。

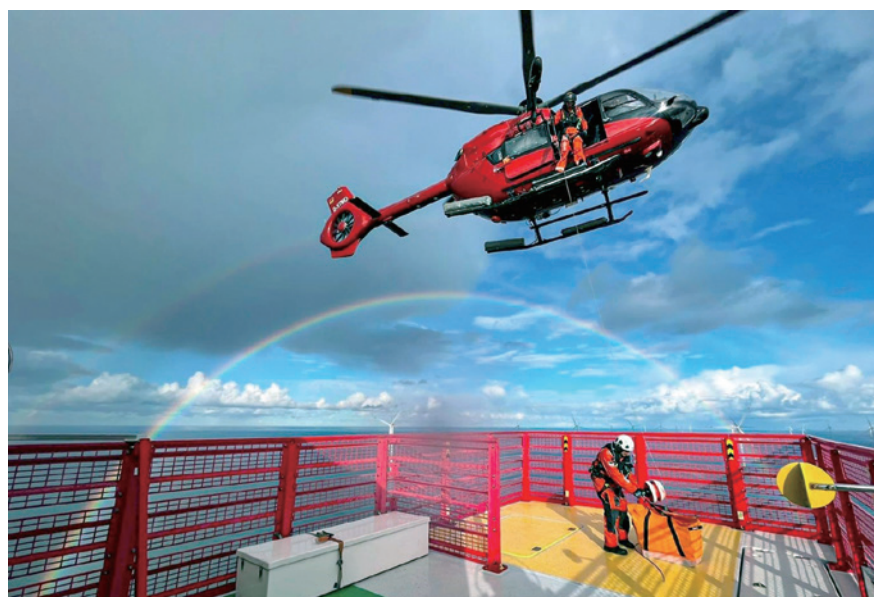
5枚翼のH145には、特にオペレーターのニーズに合わせた最新鋭のナビゲーションシステムが搭載され、任務遂行能力と運航の安全性が強化されています。このシステムには、ガーミン社のフライトマネジメントシステムGTN750 Xiの新機能が搭載される予定です。このシステムは、マルチセンサーシステムを統合・制御し高精度で信頼性の高いナビゲーション能力を提供します。GPS信号が途絶えた場合でも、タレス社の慣性航法システムにより、ヘリコプターは安全に航行することができます。これにより、厳しいIFR条件下での航行性能がさらに向上し、ヘリコプター環境で最も正確な航行手順であるRNP-AR 0.1の認定を受けることが可能になります。また、5枚翼のH145で認証を受けているビンコリオン社の新型ホイストを搭載し、最高の安全基準を確保する構成となっています。



Regaはスイスで14のHEMSステーションを運営しています。昨年、ヘリコプターのクルーは、471人のCOVID患者の搬送を含む14,330件の任務を遂行しました。

エアバスのベストセラー機であるH145小型双発ヘリコプターの新バージョンは、多用途機として新しく革新的な5枚翼を備え、有効搭載量を150kg増加させました。また、新しいベアリングレス・メインローターのシンプルな設計により、メンテナンス作業が容易になり、H145がベンチマークとなっている整備性と信頼性がさらに向上するとともに、乗客・乗員の乗り心地が改善されました。H145ファミリーのヘリコプターは現在合計で1,600機以上が就航し、700万時間以上の飛行時間を記録しています。H145は2基のサフラン社製アリエル2Eエンジンを搭載し、全デジタル式エンジン制御装置(FADEC)とHelionixアビオニクスを装備しています。また、高性能の4軸オートパイロットを搭載し、安全性の向上とパイロットの作業負担の軽減を実現しています。H145は、このクラスで最も騒音レベルが低く、CO<sub>2</sub>排出量も最も少なくなっています。

## 欧州の洋上風力発電所の稼働を維持



前回のヨーロッパ・ローター・ショーで、エアバスはドイツのオペレーターHTMヘリコプターズに5枚翼のH145を納入したことを発表しました。それから1年、このヘリコプターがこの業界でどのように活躍しているかを確認しました。

ヘリコプターは洋上風力発電産業にとって重要なツールです。風力発電所のメンテナンスが必要なときは、ヘリコプターなら技術者や資材を必要な場所に1時間以内に運ぶことができます。洋上風力発電の導入は、欧州グリーンディール(気候変動対策)を実現するための中核となるものです。2021年のEUの洋上風力発電設備容量は1,460万kWですが、今後5つのEU海域を活用し、2030年までに少なく

とも25倍にすることがEUの野望となっています。ヨーロッパの洋上風力発電所を稼働させ続けるために、ヘリコプターは技術者や資材を必要な場所に迅速に輸送するための重要な資産となっているのです。

### 風浪階級コード6も問題なし

「風力発電所が1時間稼働しないだけで、風力発電所の運営会社は大きな損失を被ることになります。波の高さが6メートルにもなる海況コード6という非常に荒い海の状況でも、ヘリコプターは仕事をこなすことができる唯一の交通手段なのです。このようなミッションの典型的なクルーは、パイロット1名と技術クルー1名の計2名で、風車技術者(通常3名まで)の風車への吊り下げを担当します。風車まで20~30分飛び、3人の技術者とその機材を吊り下げ、1回の吊り下げに約1分しかかかりません。午後はその逆です。それらの任務を安全に遂行するために、ヘリコプターにはパイロットをサポートする多くの機能が搭載されています。Helionixは素晴らしく、直感的です。必要な情報を常に得ることができますし、これから行うミッションに合わせて画面をカスタマイズするオプションも数多く用意されています。4軸オートパイロットはヘリコプターを安定させるのに役立ち、これは乗客を吊り上げ下げするときに特に重要です。」と、HTMヘリコプターズのパイロット兼オフショアマネージャー、Remco Siemerinkは述べています。

### 2000ミッション達成

2014年から4枚翼のH145を運航している同社は、1年前に革新的なベアリングレスメインローターシステムを搭載した最新バージョンを受領しました。「ノルトダイヒの基地からボルグム・リフグランド1及び2やゴデウィンド1及び2へ運用している5枚翼のH145は、我々のミッションに最適なヘリコプターであることが証明されています。前バージョンに比べて有効搭載量が増加したことで、さらに余裕が生まれましたし、スムーズな乗り心地は乗組員にとっても技術者にとっても素晴らしいものです。昨年、5枚翼のH145は2,000以上のミッションを成功させ、400時間以上の飛行時間を記録しています。H145の性能は素晴らしいものです。夏でも冬でも、H145は非常にパワフルで、まったく問題がありません。キャビンに区切りがないのも良い点であり、各風力発電所で技術者や機材を次々と吊り下げることができるのです。他のヘリコプターでは、乗客席と貨物室が分かれているため、そのようなことはできません」とSiemerinkは付け加えます。

### 2008年より洋上風力発電事業に参入

「ドイツとフランスの洋上風力発電事業では、3機のH135と2機のH145のフリートを運航しています。主な拠点はドイツ北部のヘルゴランド、エムデン、ノルトダイヒで、フランスではナントに近いラバウル空港に最近新たに拠点を設けました。H135とH145は昨年だけで1,300時間以上の飛行時間を記録しました。現在のエネルギー危機は、再生可能エネルギーが将来的に重要であることを示しています。風力発電所のエリアが拡大し、海岸から遠く離れているため、ヘリコプターがそのサポートと維持に重要な役割を果たすと期待しています」とSiemerinkは言います。

## H125/H130耐破壊性燃料システム(CRFS)レトロフィットに関するキャンペーン継続のご案内

2021年にご案内しています耐破壊性燃料システム(CRFS)のレトロフィットに関しまして、キャンペーンが2023年も継続されることになりましたのでお知らせいたします。

当社のH125(AS350)/H130(EC130)ヘリコプターには、生存可能な衝撃(破壊着陸)の後に生じる燃料火災による搭乗者への危険を最小にし、事故発生時の生存率を向上させることが可能なFAA FAR/EASA CS §27.952に準拠した耐破壊性燃料システム(CRFS)が装備可能です。現在、CRFSは全てのH125およびH130の新造機に標準装備されています。また、CRFSは既に運航中の全てのH125(AS350)/H130(EC130)シリーズにSBまたはSTCにより追加装備が可能です。

SAF エアログループは最近、15機のH125エキュレイユヘリコプターを改修するためにCRFSキットを発注し、安全性を高めるとともに魅力的なインセンティブを活用しました。このキットは、オペレーターの施設で最小限のダウンタイムで設置することができます。

お客様にとって本CRFSキット導入が魅力的なものになるよう、引き続き特別キャンペーン価格を適用させていただくことにしました。価格、インセンティブにつきましては以下の通りです。

## CRFS(耐破壊性燃料システム)レトロフィットキット キャンペーン

### 1. 価格

- ①対象機種：－AS350B3/AS350B3e pre-mod 0720034 CRFSキット  
－EC130B4(カーゴスウィング非装備)CRFSキット

特別販売価格

**¥5,220,000**(税別)／セット(定価 ¥9,000,000)

- ②対象機種：－AS350B3/AS350B3e post-mod 0720034 CRFSキット  
－EC130B4(カーゴスウィング装備)CRFSキット

特別販売価格

**¥5,800,000**(税別)／セット(定価 ¥10,000,000)

\*上記価格には取り付け作業費は含まれていませんので、SB作業をエアバス・ヘリコプターズ・ジャパンに依頼する場合は別途お見積申し上げます。

### 2. インセンティブ

レトロフィット作業完了後、1キットご購入につき**¥2,175,000**のクレジットノートを提供いたします。クレジットノートはエアバス・ヘリコプターズより購入する部品代や修理・オーバーホール作業費用に利用できます。クレジットノートは2年間有効です。

当該キャンペーンの適用を受けるには、有効期限の2023年12月31日までにCRFSレトロフィットキットをご発注いただく必要があります。納期、その他の条件等詳細につきましては、カスタマーサポート部の担当者までお問い合わせください。是非ご検討の程、宜しくお願ひ申し上げます。



## 2023年度設定訓練コース

2023年2月時点での訓練コース空き状況をご案内いたします。ご興味のあるコースがありましたらお問い合わせをお願いします。  
(お申し込みには受講要件を満たしている必要がございます。また最少催行人数は2名となっておりますので、これを満たさない場合は訓練を実施しない場合がございます)

各コースとも、訓練開始までに空席がある場合、弊社社員が聴講姓として参加する場合があります(座学の最大受講人数は8名を基本としております)

### ■ 操縦士訓練

コース名		期間(日程は変更となる場合がございます)	受講要件	申込可能	備考
AS365N3	型式限定変更 座学訓練	学科：2023年4月17日～4月27日予定	A	○	(注1)
AS365N3+	型式内移行訓練 (N2→N3+)	学科：2023年5月16日～5月19日予定 実機：別途ご相談(1人当たり4.5時間)	A	○	(注2)
H225	型式限定変更 座学訓練	学科：2023年7月3日～7月14日予定	A	○	
AS365N3+	型式限定変更 座学訓練	学科：2023年9月19日～9月29日予定	A	○	(注1)



受講要件:

A: 有効な技能証明書と航空身体検査証明書および陸上多発タービン機の等級限定

B: 有効な技能証明書と航空身体検査証明書

(注1): 座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した実機訓練等をご希望の場合は別途お問い合わせください。

(注2): 座学訓練終了後、海外でのシミュレーター訓練及びお客様保有の機体を使用した実機訓練等をご希望の場合は別途お問い合わせください。

## ■ 整備士訓練

コース名		期間(日程は変更となる場合がございます)	受講要件	申込可能	備考
AS350 (H125)	OEM訓練	学科: 2023年4月3日~4月12日予定 実技訓練: 2023年4月13日~4月17日予定	A	△	(注1)
H135	ガイドライン訓練 (T3/P3まで)	学科: 2023年4月10日~4月19日予定 実技訓練: 2023年4月20日~4月26日予定 FFS試運転: 2023年4月27日~4月28日予定	A	○	
H225	型式限定変更 座学訓練	学科: 2023年5月22日~6月16日予定	D	△	(注2)
H135	Helionix機向け OEM訓練 / ガイドライン訓練	学科: 2023年6月12日~6月21日予定 実技訓練: 2023年6月22日~6月30日予定 試運転: (注1)	A	△	
AS365N3	一等航空整備士 訓練	学科: 2023年6月5日~6月23日予定 実技訓練: 2023年6月26日~6月29日予定	C または D	△	(注3)
AS365N3	オートパイロット 学科	学科: 2023年10月開催予定	B	○	AFCS 155D 向けコース

受講要件:

A: 回転翼航空機ライセンス又は同等の知識(6ヶ月以上の整備経験を有する)

B: 二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上

C: 二等航空整備士(回)タービン機等級限定以上を所有かつ一等航空整備士学科試験に合格、有効期間内である事

D: 一等航空整備士(回)技能証明

E: 単発タービンヘリコプター以上の整備知識

F: 二等運航整備士又は二等航空整備士免許保持者、二等航空整備士学科試験に合格し、有効期間内であること。

(注1): 座学訓練終了後、お客様基地でお客様保有の機体を使用した地上試運転を実施し、ガイドライン訓練として受講をご希望の場合は別途お問い合わせください。

(注2): 座学訓練終了後、実地試験受験支援までの訓練などをご希望の場合は別途お問い合わせください。

(口述対策訓練、海外訓練施設でのモックアップを使用した実技訓練及びお客様保有の機体を使用した訓練等)

(注3): 座学訓練終了後、実地試験受験支援までの訓練などをご希望の場合は別途お問い合わせください。

(口述対策訓練、お客様保有の機体を使用した訓練等)

お問い合わせ先: カスタマーサポート部 西岡 ([hisao.nishioka@airbus.com](mailto:hisao.nishioka@airbus.com))

または各CSM(カスタマーサポートマネージャー)まで。

# 春のシミュレーター訓練キャンペーン 2023

今年も下記適用条件を満たすシミュレーター訓練をお申し込み頂いた場合は、特別価格としてお見積提示額より10%割引させていただきます。この機会にぜひご検討ください。

## ■春のシミュレーター訓練キャンペーン 2023 適用条件

- 2023年3月20日～4月28日までの訓練実施
- 非常操作、TEM、消防防災向け非常操作訓練等、当社教官にて実施する学科およびシミュレーターを使用した訓練とし、1名あたり2時間以上のシミュレーター訓練を実施する事
- 2023年3月3日までの申し込みが対象です
- 複数回実施する場合は上記期間で実施する訓練のみ対象となります

お問い合わせ先：カスタマーサポート部 西岡(03-6871-8258、[hisao.nishioka@airbus.com](mailto:hisao.nishioka@airbus.com))  
または各CSM(カスタマーサポートマネージャー)までお願いいたします。



## 1. 安全推進活動

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンは、安全運航の確保に貢献すべく、引き続き関連省庁と連携した各種取り組みに積極的に参画しています。

また、「航空安全ロードショー」の開催、ヒューマンファクターズ訓練の実施、及びコンサルティング等を通して、安全文化の醸成活動を推進しています。(右図参照)

「航空安全ロードショー等の開催」については、お客様のご要望等をお伺いする中で計画(訪問開催またはWeb会議方式)し、開催させていただきます。

航空安全ロードショー等の開催実績(2022年12月末現在)

実施年	N:初回開催 R:繰り返し開催 A/C:各協会や各都市開催等 W:Web会議 (回)		参加者数 (延べ人数)
2016~2022	121	N:46, R:25, A/C:23, W:27	2904

## 2. ヘリコプターの安全情報 (SAFETY PROMOTION NOTICEシリーズ)

エアバス・ヘリコプターズは、EASA Community Networkのメンバーとして安全推進活動を展開しており、過去に経験した事故やインシデント等に基づいた重要な教訓・安全情報等が、EASA Community Networkサイトの「[Safety-Topics A-Z](#)」にて紹介されています。

今回は、飛行安全の基盤である「[helicopter-airmanship](#)」について、EHEST HE2 ヘリコプターエアマンシップ<sup>\*1</sup>を参考に、その内容を紹介させていただきます。

ヘリコプターエアマンシップとは、「飛行目的を完遂する優れた判断の一貫した実行と、確固たる知識、技術、そして心構え」と定義づけられており、事故の犠牲者とならない最良の備えとして、「総合的な知識、周到な飛行前準備、飛行訓練の繰り返し、そして自己満足の排除」が求められています。

※1 EHEST HE2 ヘリコプターエアマンシップ

EHEST : EUROPEAN HELICOPTER SAFETY TEAM  
[http://www.helijapan.org/pdf/JHST/HE2\\_Japanese.pdf](http://www.helijapan.org/pdf/JHST/HE2_Japanese.pdf)



1) 事故の原因・誘因

ヨーロッパにおけるヘリコプター事故の調査 (EHEST : 2000-2005 ヨーロッパの事故分析) により、以下のファクターが事故の原因・誘因として注意喚起されており、これらの大部分はエアマンシップに関わるものです。

● 操縦士の決断及びリスク評価

飛行前のリスク評価 (運航形態に応じた検討項目等) については、下記のエアバスのアプリケーション (Before Your Flight) で設定されておりますので、ご確認及びご活用ください。

Before Your Flight (日本語版選択可能)  
[iOS](#)、または [Android](#) デバイスにて  
ダウンロード可 (無料)



- 飛行計画 (特に気象に注意が必要)
- 操縦士自身の限界及び能力に対する判断ミスや過信 (決して自信過剰にならないこと)
- 操縦士の経験不足
- 気象 / 風に対する考慮不足
- 手順の不実行
- パイロットの不適切な飛行操作 / ハンドリング
- 現在の行動または操縦を中止させるべき兆候の見落とし
- 不意の IMC への進入 / 気象状態による視界不良
- 故意による規則及び SOP (標準操作手順) の不遵守



# クリストフ・ザマー カスタマーサポート&サービス部門 エグゼクティブ・バイス・プレジデントよりお客様へ



前回のエアバス・ヘリコプターズの顧客満足度調査を受けて、この場で、私たちが目指したのに関してどのように取り組んでいるかをお伝えしたいと思います。

## フロントオフィスに関して

2022年に20人以上のCLM(カスタマー・ロジスティクス・マネージャー)を採用し、部品供給を効率的に、より迅速に行えるよう、そしてお客様のオペレーションに寄り添うよう努めてまいりました。2023年にはさらにフロントオフィス機能として20名近くの人材を採用する予定です。

また、お客様が時間帯に関係なく、当社の技術専門家の必要なサポートを受けられるよう、営業時間外のサポートサービスを実施いたしました。同時に、デジタル化の一環として、AirbusWorldポータルサイトの機能性を向上させ、より使いやすくするための改良を続けてきました。AirbusWorldは、より一層弊社とお客様をつなぐためのツールサイトとなります。

## スペアパーツや修理、マテリアル・サポート・ソリューション提供に関して

エアバス・ヘリコプターズは、1億ユーロ相当の原材料や完成品を調達する発注を決定し、実行に移しました。更に、PBHサービス向けプールおよびスタンダードエクスチェンジ品に5,000万ユーロを追加投資しました。しかし、進展は期待したほどではありませんでした。

主な原因は、社内外のサプライチェーンに関するいくつかの課題にあると認識しています。例えば、原材料不足や熟練作業員や電子部品の不足などです。納期実績の悪化は皆様も目の当たりにしていることと思います。エアバス・ヘリコプターズの全社員は、社内外のサプライチェーンのサポートを徹底し、状況を改善するために全力を注いでまいります。

このような状況ですが、私たちは、フロントオフィス、カスタマーサポートマネージャー(CSM)、またはお客様が選択された方法を通じて、お客様に寄り添いながら、この状況がお客様にとって何を意味するのか、また、お客様が直面されているこれらの問題に対して私たちが具体的に何を実施しているのか、をお伝えすることが重要であると考えています。これは、「お客様に寄り添うこと、そして可視化・透明性を高めることで、お客様の飛行能力を維持し、お客様が重要なミッションを遂行できるよう実用的なソリューションを個別に提供する」という私自身、そしてエアバス・ヘリコプターズのコミットメントです。

今後も引き続き、皆様と一緒に協力し、パートナーシップを築いていけることを楽しみにしています。

## お取引に伴う輸出管理規制への対応について

エアバス・ヘリコプターズ・ジャパンでは、安全保障貿易管理強化の一環として、お客様とのお取引に伴う輸出管理規制への対応をより確実とするために、ここにご案内申し上げます。

ご高承の通り、既に多くの企業では、従来以上に自主管理体制の徹底が求められ、武器などの軍事用品目、軍事転用可能な民生用(デュアル・ユース)品目、技術等が大量破壊兵器等の開発を行っていると考えられる国や組織に渡ることを未然に防止するために、適切な輸出管理に取り組んでおります。

弊社に於きましても、日々のお取引の中で、お客様よりヘリコプター(任務装備品含む)や装備品をお預かりし、点検・整備/修理・改造(以下、「メンテナンス作業」とする)等を実施しておりますが、今後、ヘリコプターの搬入前に、お客様が弊社以外のお取引業者様より調達・整備された品目を含め、事前に輸出管理規制対象品目について把握し対応の準備をすることになりました。

そのため、ヘリコプターの搬入前に「Export Controlled Item Customer Self-Disclosure Form(輸出管理規制対象品目 顧客自己開示書)」にご記入の上、弊社カスタマーサポート部担当者までご提出いただきたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

同フォームにご記入いただく際には、輸出管理規制対象品が搭載された状態で弊社にヘリコプターが搬入される場合には、その輸出ライセンスに弊社が取扱者として明記されていることをご確認下さい。もしその手続きが為されていない場合は、ヘリコプター搬入時までには手続きを完了いただきますよう、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

万一、弊社にライセンス許可が付与されていない場合、ご契約いただいたメンテナンス作業の実施に影響を及ぼすことがございますので、余裕をもって事前にご確認いただきますよう、ご理解・ご協力の程重ねてお願い申し上げます。

規制管理当局によって違いはございますが、一般的にライセンス申請～許可までには長い期間を要することが見込まれます。(注：弊社以外にも、一連のメンテナンス作業期間中にお客様のヘリコプターにかかわる航空局や、改造作業でかかわるお客様の取引業者様に対するライセンス許可の付与も必要となります。)

また、ヘリコプターのメンテナンス作業に際し、お客様より別途支給品をお預かりすることがありますが、この場合におきましても、輸出管理規制対象品の有無、弊社へのライセンス許可付与の状況をご確認いただきたいと存じます。そのため、お客様またはお客様から支給品発送指示を受けたお取引業者様により弊社神戸空港事業所へ顧客支給品を発送手配いただく予定がある場合は、事前に「顧客支給品リスト」にご記入の上、弊社カスタマーサポート部担当者までご提出下さい。

更には、輸出管理規制対象の品目に加え、当該品目に関する技術書類もあわせて規制対象となる点についてご留意下さい。例として国際武器取引規則 (ITAR: International Traffic in Arms Regulations) が適用される装備品に関して、弊社がお客様より当該装備品のコンポーネント・メンテナンス・マニュアル (CMM: Component Maintenance Manual) の提供を受ける際も、同規則に基づいた技術書類の取り扱いが必要となります。

弊社といたしましては、お客様の満足度を維持・向上し、且つ国際社会における安全保障に寄与するためにも、今後共、適切なコンプライアンス体制をもって取り組んで参る所存です。

お客様にはご不便をお掛けいたしますが、何卒ご理解とご協力の程宜しくお願い申し上げます。

尚、以下のファイルは弊社カスタマーサポート部担当者までご用意いただくか、弊社メーリングリストにご登録いただいている方には2022年5月16日にご案内したメールに添付されておりますのでご参照ください。

- ①「輸出管理規制対象品目 顧客自己開示書」
- ②「顧客支給品リスト」

## 開催予定イベント

### ■エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン カスタマーシンポジウムおよびカスタマーフォーカスグループ

日程：2023年5月23日、24日

場所：東京

詳細は追ってご案内致します。

## ご意見募集

Newsletterに関する皆様のご意見をぜひお聞かせください。良かった記事、悪かった記事、今後のご要望など何でもけっこうです。

以下のアドレスまで(または受信されたメールに「返信」にて)お送りください。

ご意見お待ちしております。

[information.ahj@airbus.com](mailto:information.ahj@airbus.com) 編集担当者宛